

第 60 回「山形県内企業の景気動向調査」速報

(令和元年 8 月調査)

～景況感は 3 期ぶりに悪化し、先行きも慎重姿勢～

【 調査の要旨 】

- **県内企業の業況**は、自社の業況判断を示す「自社の業況 D I 値 (前年同期比)」が▲8.2 (前回調査比 5.1 ポイント下落)と **3 期ぶりに悪化**した。「各種 D I 値 (前年同期比)」をみると、「資金繰り」がやや改善したものの、「売上高」「営業利益」がやや悪化となった。「人員・人手」は 3 期連続でプラス幅が縮小となり、依然として人手不足の状況は続いているものの、不足感は幾分か和らいでいる。
- **業種別**に「自社の業況 D I 値 (前年同期比)」をみると、建設業が 1.0 (前回調査比 1.1 ポイント下落)、製造業が▲14.3 (前回調査比 11.2 ポイント下落)、卸・小売業が▲18.3 (前回調査比 2.8 ポイント下落)、サービス業が 0.0 (前回調査比 4.2 ポイント下落)と、すべての業種で悪化となった。
- **地域別**に「自社の業況 D I 値 (前年同期比)」をみると、村山南部が▲5.4 (前回調査比 9.1 ポイント下落)、村山北部が 1.8 (前回調査比 6.9 ポイント下落)、最上が 6.8 (前回調査比 12.7 ポイント下落)、置賜が▲33.9 (前回調査比 20.7 ポイント下落)、庄内田川が▲9.4 (前回調査比 4.9 ポイント上昇)、庄内飽海が▲8.1 (前回調査比 7.1 ポイント上昇)と、庄内田川、庄内飽海で改善したものの、村山南部、村山北部、最上、置賜で悪化となった。村山南部では D I 値がマイナスに転じた。
- **先行き見通し**は「自社の業況 D I 値 (前年同期比)」が▲12.7 (今回調査比 4.5 ポイント下落)と大幅に悪化の見込みとなっている。

【特別調査】

- **設備投資動向**について尋ねたところ、全業種でみると、「実施する (した)」と回答した企業の割合は 41.3%と、前年度に比べ 1.4 ポイントの減少となった。一方、「実施しない」は 43.3%と 2.0 ポイントの上昇となった。
- **消費増税による影響**について増税により懸念されることを尋ねたところ、全業種で「全般的な景気の悪化」と回答した企業が最も多く、61.2%となった。次いで「売上高の減少」が 37.1%、「仕入れコストの上昇」が 35.0%、「利益の減少」が 31.6%となった。

令和元年 9 月

株式会社 フィデア総合研究所

目次

I.	県内企業の業況	1
1.	概況	1
2.	業種別の動向	2
(1)	業種別の概況	2
(2)	業種別DI値の動向	3
①	建設業	3
②	製造業	4
③	卸・小売業	5
④	サービス業	6
3.	地域別の動向	7
(1)	地域別の概況	7
(2)	地域別DI値の動向	8
①	村山南部	8
②	村山北部	9
③	最上	10
④	置賜	11
⑤	庄内田川	12
⑥	庄内飽海	13
II.	景気の天気予報図	14
III.	特別調査	15
1.	設備投資動向について	15
(1)	設備投資動向	15
(2)	設備投資金額	18
(3)	設備投資目的	19
2.	消費増税による影響について	21
<参考資料 I : 地域別・業種別回答率>		23
<参考資料 II : 調査の概要>		23

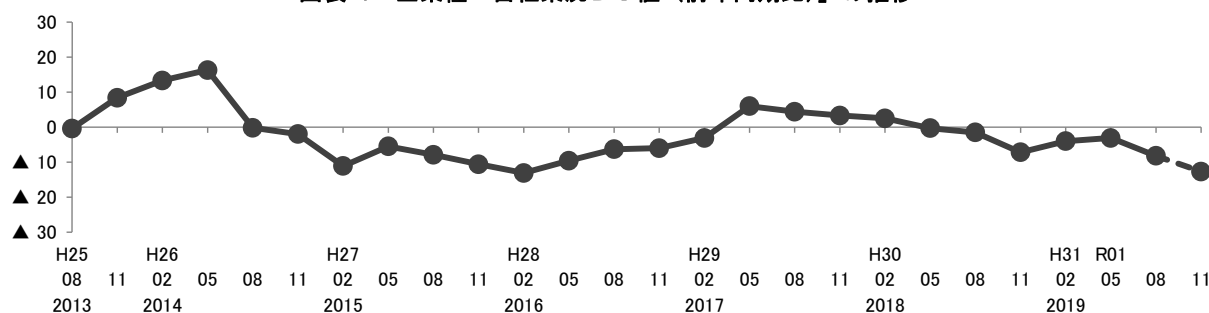
I. 県内企業の業況

1. 概況

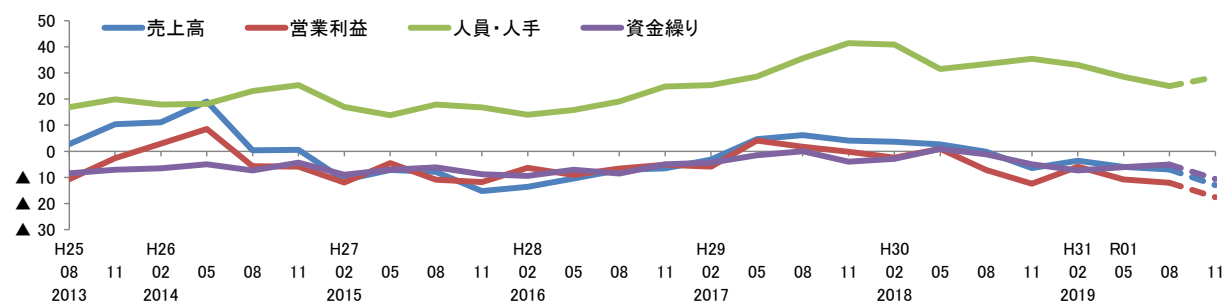
県内企業の業況は、自社の業況判断を示す「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲8.2（前回調査比 5.1 ポイント下落）と 3 期ぶりに悪化した。「各種 D I 値（前年同期比）」をみると、「資金繰り」がやや改善したもの、「売上高」「営業利益」がやや悪化となった。「人員・人手」は 3 期連続でプラス幅が縮小となり、依然として人手不足の状況は続いているものの、不足感は幾分か和らいでいる。

先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲12.7（今回調査比 4.5 ポイント下落）と大幅に悪化の見込みとなっている。米中貿易摩擦や中国経済減速の影響、人手不足や働き方改革への対応などから先行きを懸念しているものと考えられる。

図表 1 全業種「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 2 全業種「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

山形県 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
	全業種	前回調査比	前回調査予測				
H 30.08 (n=412)	▲ 1.5	(▲ 1.2)	▲ 9.6	▲ 0.2	▲ 7.2	33.4	▲ 1.2
H 30.11 (n=418)	▲ 7.2	(▲ 5.7)	▲ 4.9	▲ 6.4	▲ 12.4	35.4	▲ 5.0
H 31.02 (n=409)	▲ 4.0	(3.2)	▲ 8.9	▲ 3.6	▲ 5.9	33.0	▲ 7.3
R 01.05 (n=415)	▲ 3.1	(0.9)	▲ 20.8	▲ 6.0	▲ 10.8	28.5	▲ 6.1
R 01.08 (n=416)	▲ 8.2	(▲ 5.1)	▲ 18.8	▲ 7.0	▲ 12.1	25.0	▲ 5.1
前回調査比	-	-	-	(▲ 1.0)	(▲ 1.3)	(▲ 3.5)	(1.0)
先行き見通し	▲ 12.7	-	-	▲ 13.0	▲ 17.6	28.4	▲ 10.6
今回調査比	(▲ 4.5)	-	-	(▲ 6.0)	(▲ 5.5)	(3.4)	(▲ 5.5)

※「売上高」D I 値は建設業の「完成工事高」を含んだ数値

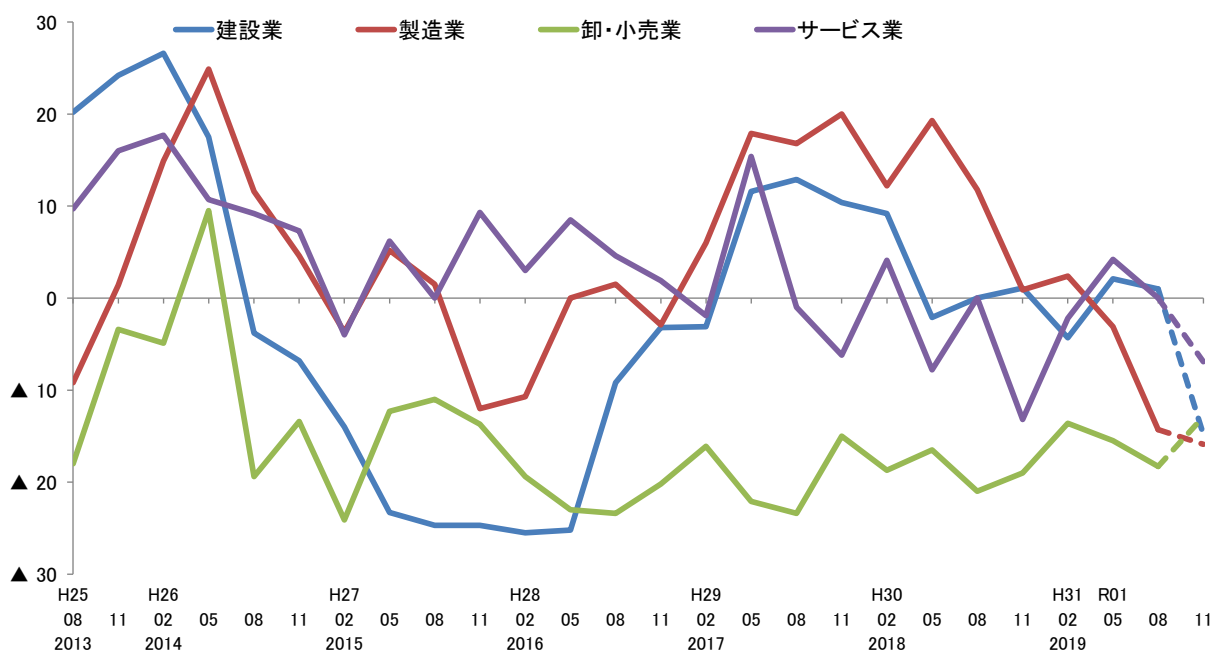
2. 業種別の動向

(1) 業種別の概況

業種別に「自社の業況 D I 値（前年同期比）」をみると、建設業が 1.0（前回調査比 1.1 ポイント下落）、製造業が▲14.3（前回調査比 11.2 ポイント下落）、卸・小売業が▲18.3（前回調査比 2.8 ポイント下落）、サービス業が 0.0（前回調査比 4.2 ポイント下落）と、すべての業種で悪化となった。

業況の先行き見通しは、建設業、製造業、サービス業で悪化の見込みとなっている。

図表 3 業種別「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

見通し

業種別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）				
	全業種	建設	製造	卸・小売	サービス
H 30.08 (n=412)	▲ 1.5	0.0	11.8	▲ 21.0	0.0
H 30.11 (n=418)	▲ 7.2	1.1	0.9	▲ 19.0	▲ 13.2
H 31.02 (n=409)	▲ 4.0	▲ 4.3	2.4	▲ 13.6	▲ 2.2
R 01.05 (n=415)	▲ 3.1	2.1	▲ 3.1	▲ 15.5	4.2
R 01.08 (n=416)	▲ 8.2	1.0	▲ 14.3	▲ 18.3	0.0
前回調査比	(▲ 5.1)	(▲ 1.1)	(▲ 11.2)	(▲ 2.8)	(▲ 4.2)
先行き見通し	▲ 12.7	▲ 14.8	▲ 15.9	▲ 12.9	▲ 6.9
今回調査比	(▲ 4.5)	(▲ 15.8)	(▲ 1.6)	(5.4)	(▲ 6.9)

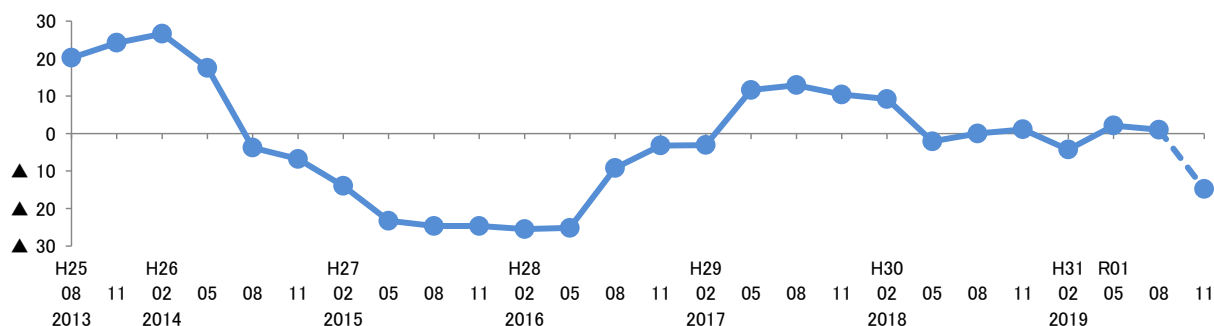
(2) 業種別 D I 値の動向

① 建設業

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は 1.0（前回調査比 1.1 ポイント下落）と、一進一退の状況が続いている。「各種 D I 値（前年同期比）」をみると、「営業利益」「手持工事高」で改善したものの、「完成工事高」「資金繰り」が悪化した。「人員・人手」は 3 期ぶりにプラス幅が拡大した。各社のコメントからは、公立小中学校の冷房設備工事や最上地域の災害復旧工事により忙しい状況がうかがえたものの、その後の仕事量の減少を懸念している様子が見受けられる。

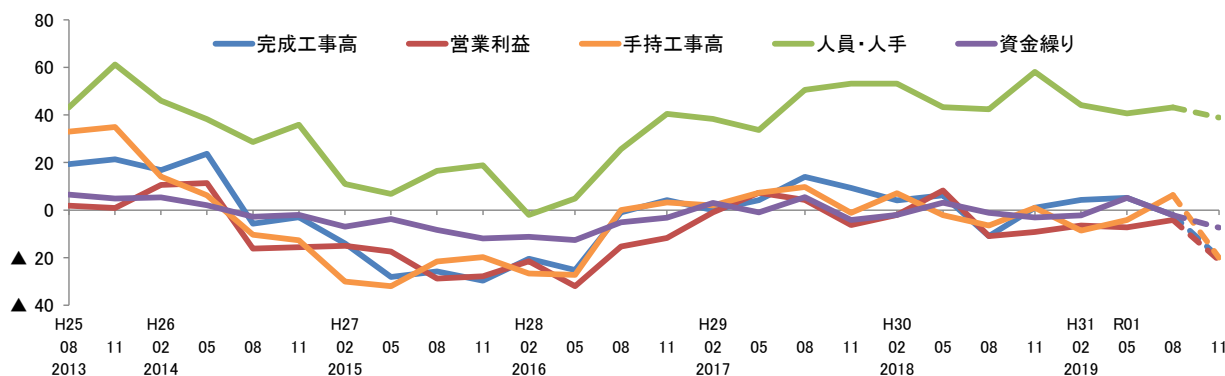
業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲14.8（今回調査比 15.8 ポイント下落）と大幅な悪化が見込まれている。

図表 4 建設業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

図表 5 建設業「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況 D I 値

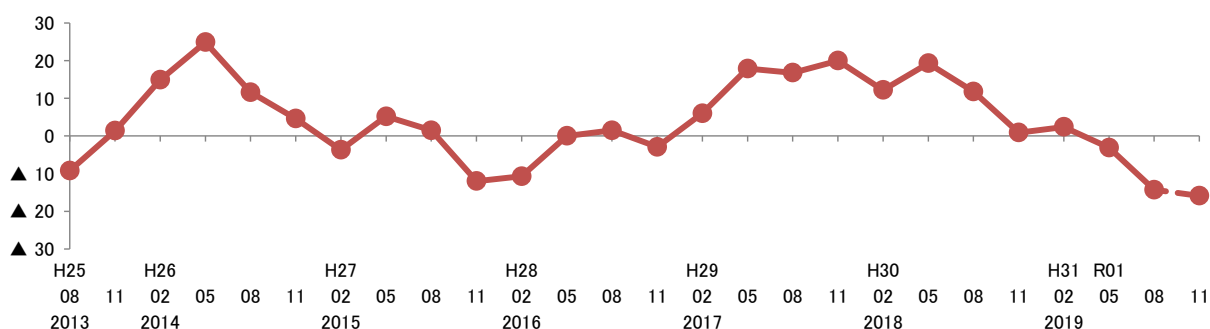
建設業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			完成 工事高	営業 利益	手持 工事高	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測						
H 30. 08 (n=92)	0.0	(2.1)	▲ 24.7	▲ 10.9	▲ 10.9	▲ 6.5	42.4	▲ 1.1
H 30. 11 (n=98)	1.1	(1.1)	▲ 10.9	1.0	▲ 9.2	1.0	58.1	▲ 3.1
H 31. 02 (n=93)	▲ 4.3	(▲ 5.4)	▲ 14.3	4.3	▲ 6.5	▲ 8.6	44.1	▲ 2.2
R 01. 05 (n=96)	2.1	(6.4)	▲ 27.9	5.2	▲ 7.3	▲ 4.2	40.6	5.2
R 01. 08 (n=95)	1.0	(▲ 1.1)	▲ 16.6	▲ 2.1	▲ 4.2	6.3	43.2	▲ 2.1
前回調査比	-	-	-	(▲ 7.3)	(3.1)	(10.5)	(2.6)	(▲ 7.3)
先行き見通し	▲ 14.8	-	-	▲ 20.0	▲ 21.0	▲ 20.0	38.9	▲ 7.4
今回調査比	(▲ 15.8)	-	-	(▲ 17.9)	(▲ 16.8)	(▲ 26.3)	(▲ 4.3)	(▲ 5.3)

② 製造業

「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲14.3（前回調査比 11.2 ポイント下落）と 2 期連続で悪化した。「各種 D I 値（前年同期比）」をみると、「営業利益」が大幅に悪化となった。「人員・人手」は 3 期連続でプラス幅が縮小し、人手不足感が多少緩和している。各社のコメントからは、米中貿易摩擦や中国経済の減速、日韓関係の影響に加え、働き方改革や最低賃金の引き上げに対応するための負担の増加に苦慮している状況がうかがえる。

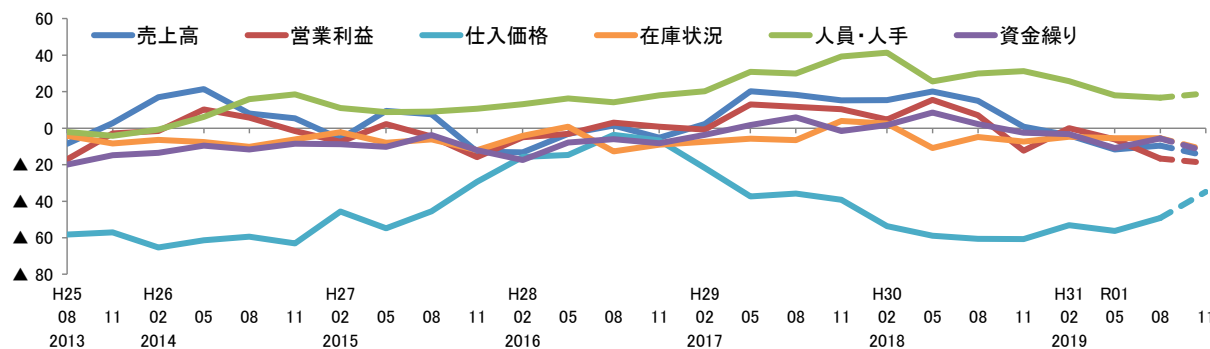
業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲15.9（今回調査比 1.6 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表 6 製造業「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

図表 7 製造業「各種 D I 値（前年同期比）」の推移



見通し

前年同期比の自社業況 D I 値

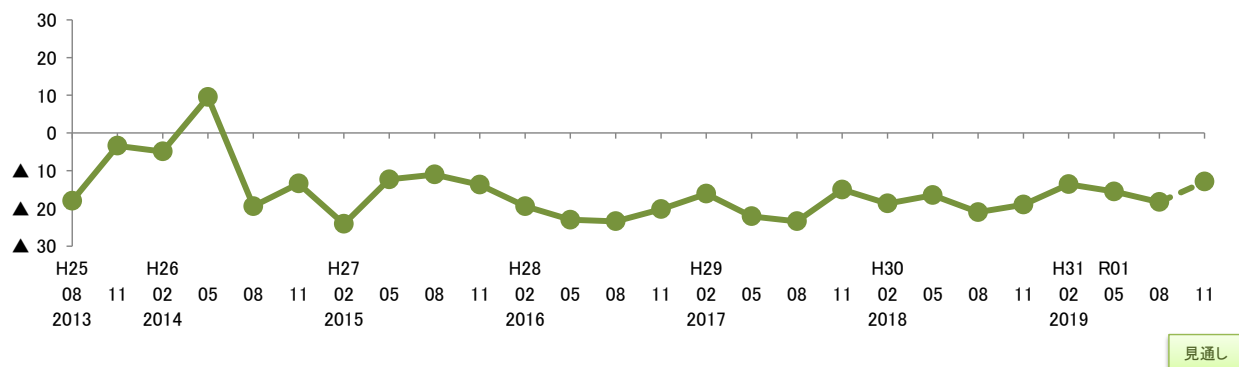
製造業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員 人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
H 30. 08 (n=127)	11.8	(▲ 7.5)	1.6	15.0	7.1	▲ 60.6	▲ 4.8	29.9	2.3
H 30. 11 (n=122)	0.9	(▲ 10.9)	7.8	0.8	▲ 12.3	▲ 60.7	▲ 7.3	31.2	▲ 2.4
H 31. 02 (n=128)	2.4	(1.5)	1.7	▲ 3.9	0.0	▲ 53.1	▲ 4.7	25.8	▲ 3.2
R 01. 05 (n=128)	▲ 3.1	(▲ 5.5)	▲ 12.5	▲ 11.7	▲ 6.2	▲ 56.2	▲ 5.5	18.0	▲ 10.9
R 01. 08 (n=126)	▲ 14.3	(▲ 11.2)	▲ 16.4	▲ 9.5	▲ 16.7	▲ 49.2	▲ 5.5	16.7	▲ 5.6
前回調査比	-	-	-	(2.2)	(▲ 10.5)	(7.0)	(0.0)	(▲ 1.3)	(5.3)
先行き見通し	▲ 15.9	-	-	▲ 15.0	▲ 19.0	▲ 34.9	▲ 11.9	19.1	▲ 12.7
今回調査比	(▲ 1.6)	-	-	(▲ 5.5)	(▲ 2.3)	(14.3)	(▲ 6.4)	(2.4)	(▲ 7.1)

③ 卸・小売業

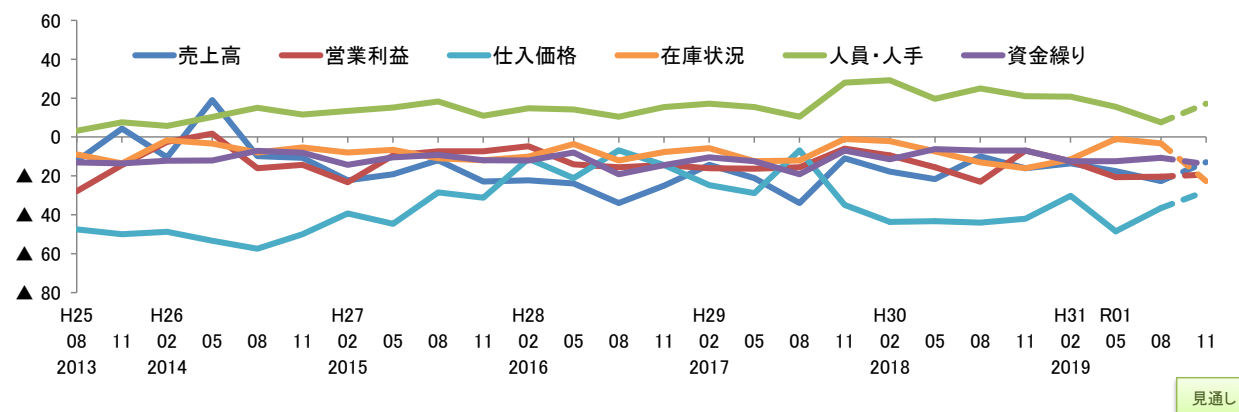
「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲18.3（前回調査比 2.8 ポイント下落）と 2 期連続で悪化となった。「各種DI値（前年同期比）」をみると、「営業利益」がほぼ横ばいとなり、「仕入価格」「資金繰り」が改善したものの、「売上高」「在庫状況」が悪化となった。「人員・人手」は 4 期連続でプラス幅が縮小した。各社のコメントからは人口減少等を背景に、依然として消費が低迷している状況がうかがえる。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲12.9（今回調査比 5.4 ポイント上昇）と、改善が見込まれている。

図表 8 卸・小売業「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 9 卸・小売業「各種DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

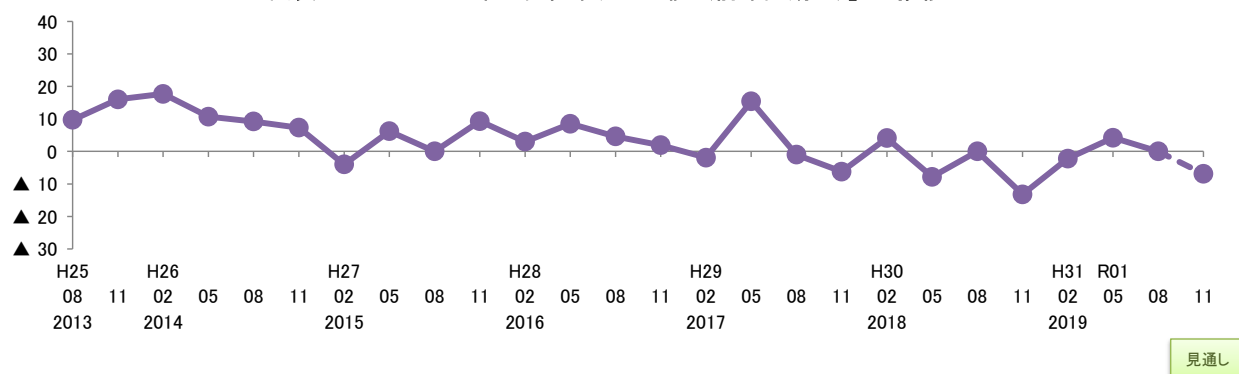
卸・小売業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員 人手	資金繰り
	前回調査比	前回調査予測							
H 30.08 (n=100)	▲ 21.0	(▲ 4.5)	▲ 5.2	▲ 10.0	▲ 23.0	▲ 44.0	▲ 13.0	25.0	▲ 7.0
H 30.11 (n=100)	▲ 19.0	(2.0)	▲ 15.0	▲ 16.0	▲ 7.0	▲ 42.0	▲ 16.0	21.0	▲ 7.0
H 31.02 (n=96)	▲ 13.6	(5.4)	▲ 15.0	▲ 13.5	▲ 12.5	▲ 30.2	▲ 11.5	20.8	▲ 12.5
R 01.05 (n=97)	▲ 15.5	(▲ 1.9)	▲ 31.3	▲ 17.5	▲ 20.7	▲ 48.5	▲ 1.0	15.5	▲ 12.4
R 01.08 (n=93)	▲ 18.3	(▲ 2.8)	▲ 19.6	▲ 22.6	▲ 20.4	▲ 36.6	▲ 3.2	7.6	▲ 10.7
	前回調査比	-	-	(▲ 5.1)	(0.3)	(11.9)	(▲ 2.2)	(▲ 7.9)	(1.7)
先行き見通し	▲ 12.9	-	-	▲ 12.9	▲ 19.3	▲ 27.9	▲ 22.6	17.2	▲ 13.9
	今回調査比	(5.4)	-	(9.7)	(1.1)	(8.7)	(▲ 19.4)	(9.6)	(▲ 3.2)

④ サービス業

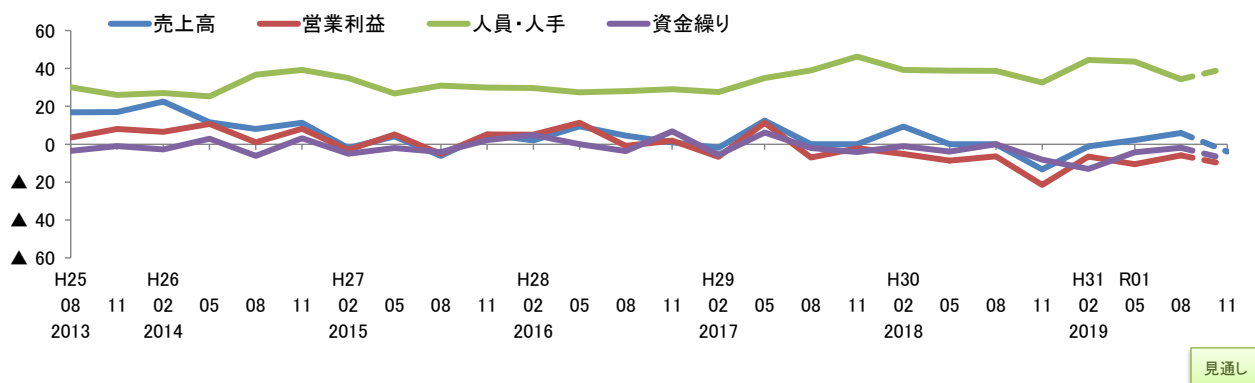
「自社の業況DI値（前年同期比）」は0.0（前回調査比4.2ポイント下落）と3期ぶりに悪化した。「各種DI値（前年同期比）」をみると、「売上高」「営業利益」「資金繰り」は改善となった。「人員・人手」は2期連続でプラス幅が縮小となった。各社のコメントからは、引き続き人手不足の状況がうかがえ、人手不足により売り上げが減少している企業もみられる。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲6.9（今回調査比6.9ポイント下落）とさらなる悪化が見込まれている。

図表 10 サービス業「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 11 サービス業「各種DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

サービス業 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			売上高	営業利益	人員 人手	資金 繰り
	前回調査比	前回調査予測					
H 30.08 (n=93)	0.0	(7.8)	▲ 13.5	0.0	▲ 6.4	38.7	0.0
H 30.11 (n=98)	▲ 13.2	(▲ 13.2)	▲ 5.4	▲ 13.3	▲ 21.5	32.6	▲ 8.2
H 31.02 (n=92)	▲ 2.2	(11.0)	▲ 10.2	▲ 1.1	▲ 6.5	44.5	▲ 13.1
R 01.05 (n=94)	4.2	(6.4)	▲ 14.1	2.2	▲ 10.6	43.6	▲ 4.3
R 01.08 (n=102)	0.0	(▲ 4.2)	▲ 23.4	5.9	▲ 5.9	34.3	▲ 1.9
前回調査比	-	-	-	(3.7)	(4.7)	(▲ 9.3)	(2.4)
先行き見通し	▲ 6.9	-	-	▲ 3.9	▲ 10.8	40.2	▲ 7.9
今回調査比	(▲ 6.9)	-	-	(▲ 9.8)	(▲ 4.9)	(5.9)	(▲ 6.0)

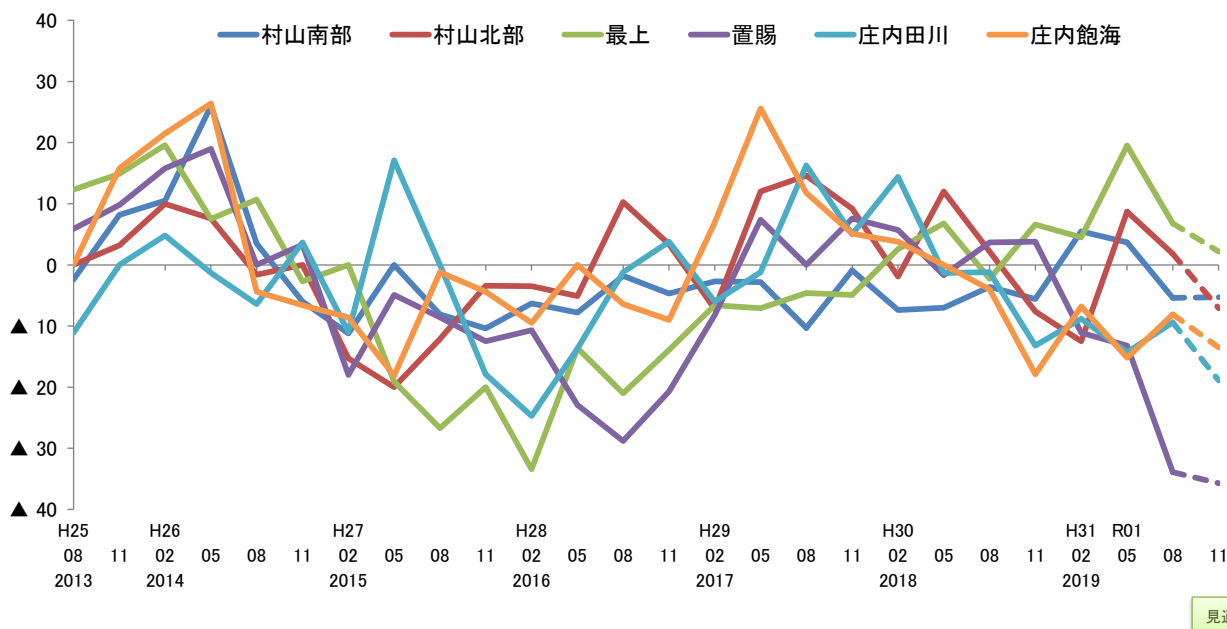
3. 地域別の動向

(1) 地域別の概況

地域別に「自社の業況DI値（前年同期比）」をみると、村山南部が▲5.4（前回調査比9.1ポイント下落）、村山北部が1.8（前回調査比6.9ポイント下落）、最上が6.8（前回調査比12.7ポイント下落）、置賜が▲33.9（前回調査比20.7ポイント下落）、庄内田川が▲9.4（前回調査比4.9ポイント上昇）、庄内飽海が▲8.1（前回調査比7.1ポイント上昇）と、庄内田川、庄内飽海で改善したものの、村山南部、村山北部、最上、置賜で悪化となった。村山南部ではDI値がマイナスに転じた。

業況の先行き見通しをみると、村山南部がほぼ横ばい、その他の地域では悪化が見込まれている。

図表 12 地域別「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

地域別 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）						
	全地域	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
H 30.08 (n=412)	▲ 1.5	▲ 3.6	2.2	▲ 2.3	3.7	▲ 1.2	▲ 4.0
H 30.11 (n=418)	▲ 7.2	▲ 5.6	▲ 7.6	6.6	3.8	▲ 13.2	▲ 17.9
H 31.02 (n=409)	▲ 4.0	5.5	▲ 12.5	4.5	▲ 11.1	▲ 8.8	▲ 6.8
R 01.05 (n=415)	▲ 3.1	3.7	8.7	19.5	▲ 13.2	▲ 14.3	▲ 15.2
R 01.08 (n=416)	▲ 8.2	▲ 5.4	1.8	6.8	▲ 33.9	▲ 9.4	▲ 8.1
前回調査比	(▲ 5.1)	(▲ 9.1)	(▲ 6.9)	(▲ 12.7)	(▲ 20.7)	(4.9)	(7.1)
先行き見通し	▲ 12.7	▲ 5.3	▲ 7.1	2.2	▲ 35.7	▲ 18.9	▲ 13.5
今回調査比	(▲ 4.5)	(0.1)	(▲ 8.9)	(▲ 4.6)	(▲ 1.8)	(▲ 9.5)	(▲ 5.4)

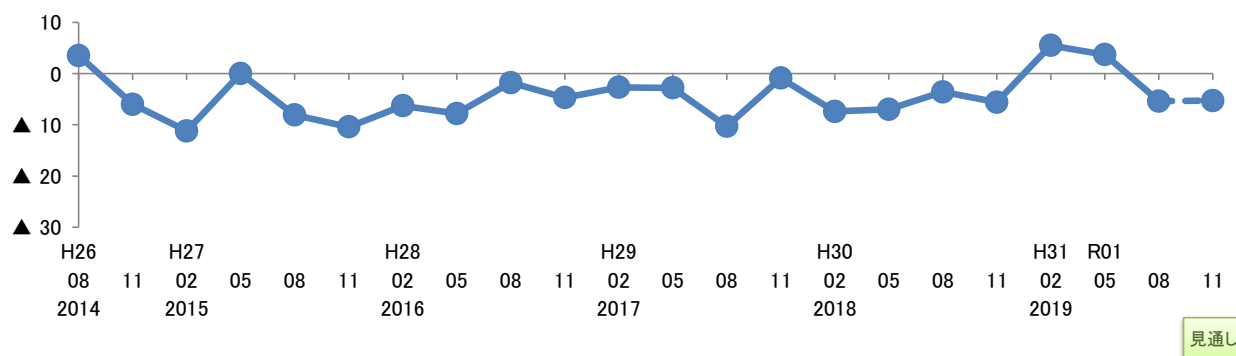
(2) 地域別 D I 値の動向

① 村山南部

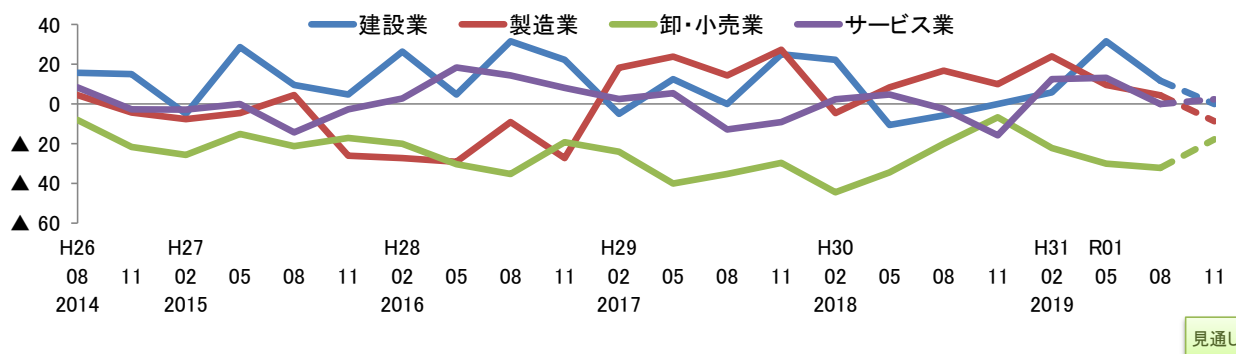
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲5.4（前回調査比 9.1 ポイント下落）と悪化し、D I 値がマイナスに転じた。業種別にみると、すべての業種で悪化となっている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲5.3（今回調査比 0.1 ポイント上昇）とほぼ横ばいの見込みとなっている。

図表 13 村山南部「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 14 村山南部「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

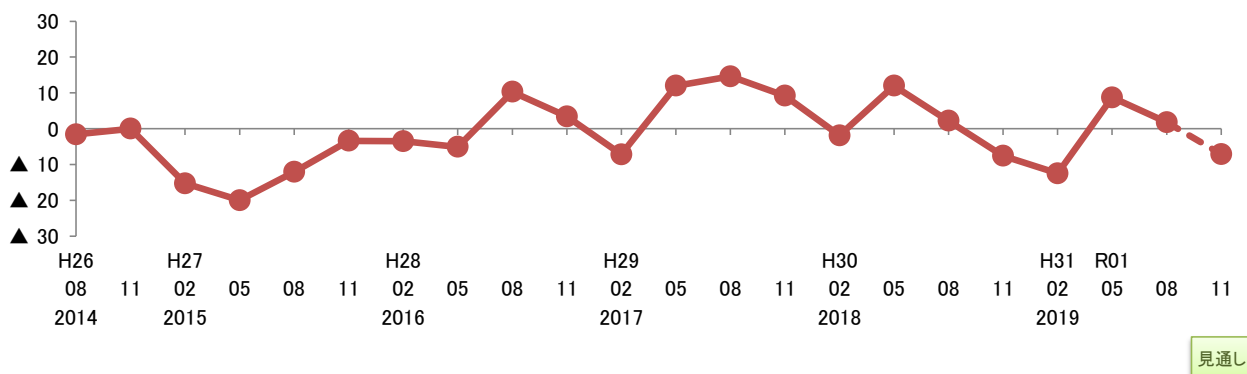
村山南部 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
H 30.08 (n=112)	▲ 3.6	(3.4)	▲ 9.6	▲ 5.8	16.7	▲ 20.0	▲ 2.4
H 30.11 (n=106)	▲ 5.6	(▲ 2.0)	▲ 9.8	0.0	10.0	▲ 6.7	▲ 15.8
H 31.02 (n=109)	5.5	(11.1)	▲ 8.5	5.8	24.0	▲ 22.2	12.5
R 01.05 (n=108)	3.7	(▲ 1.8)	▲ 12.9	31.5	9.6	▲ 30.0	13.2
R 01.08 (n=112)	▲ 5.4	(▲ 9.1)	▲ 12.9	11.7	4.3	▲ 32.2	0.0
前回調査比	-	-	-	(▲ 19.8)	(▲ 5.3)	(▲ 2.2)	(▲ 13.2)
先行き見通し	▲ 5.3	-	-	0.0	▲ 8.7	▲ 17.8	2.3
今回調査比	(0.1)	-	-	(▲ 11.7)	(▲ 13.0)	(14.4)	(2.3)

② 村山北部

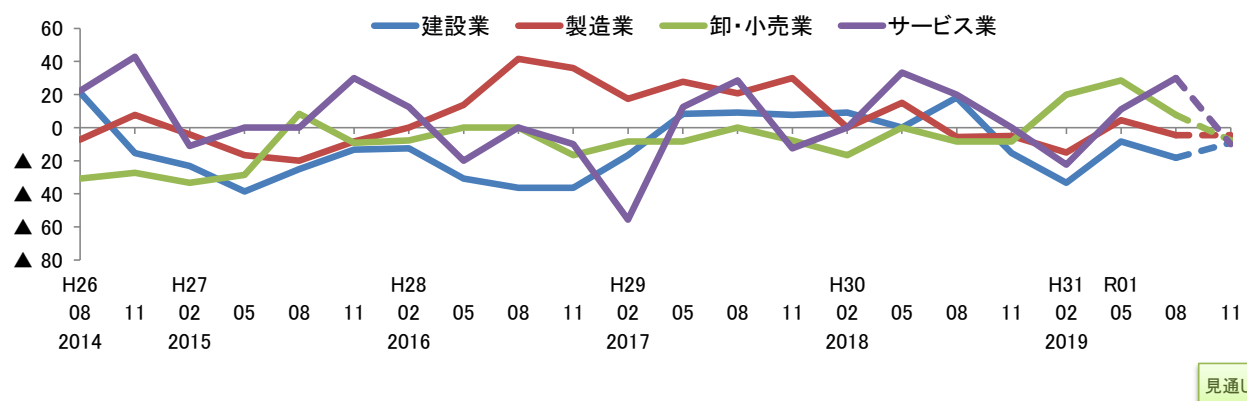
「自社の業況DI値（前年同期比）」は1.8（前回調査比6.9ポイント下落）と2期ぶりに悪化した。業種別にみると、建設業、製造業、卸・小売業で悪化となっている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲7.1（今回調査比8.9ポイント下落）とさらなる悪化が見込まれている。

図表 15 村山北部「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 16 村山北部「業種別・自社業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

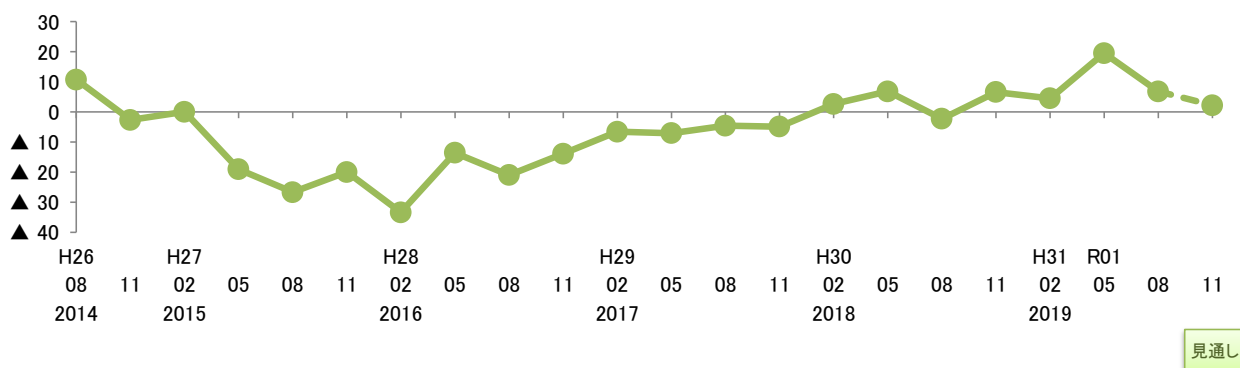
村山北部 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
H 30.08 (n=46)	2.2	(▲ 9.8)	18.0	18.2	▲ 5.6	▲ 8.3	20.0
H 30.11 (n=53)	▲ 7.6	(▲ 9.8)	8.7	▲ 15.4	▲ 5.0	▲ 8.3	0.0
H 31.02 (n=48)	▲ 12.5	(▲ 4.9)	1.9	▲ 33.3	▲ 15.0	20.0	▲ 22.3
R 01.05 (n=57)	8.7	(21.2)	▲ 31.3	▲ 8.4	4.6	28.6	11.1
R 01.08 (n=56)	1.8	(▲ 6.9)	▲ 3.6	▲ 18.2	▲ 4.6	7.7	30.0
前回調査比	-	-	-	(▲ 9.8)	(▲ 9.2)	(▲ 20.9)	(18.9)
先行き見通し	▲ 7.1	-	-	▲ 9.1	▲ 4.6	▲ 7.7	▲ 10.0
今回調査比	(▲ 8.9)	-	-	(9.1)	(0.0)	(▲ 15.4)	(▲ 40.0)

③ 最上

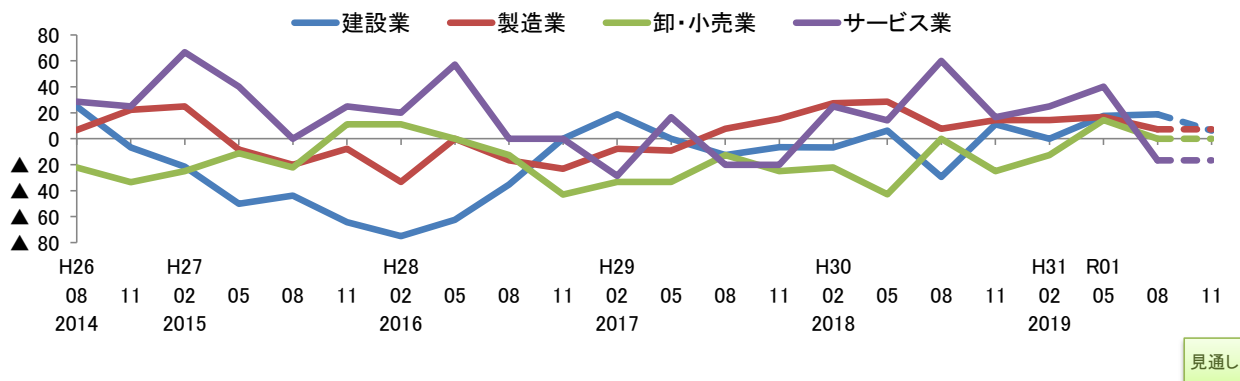
「自社の業況DI値（前年同期比）」は6.8（前回調査比12.7ポイント下落）と悪化した。業種別にみると、建設業を除く3業種で悪化となっている。各社のコメントから、建設業では災害復旧関連の工事が継続している状況がうかがえる。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」が2.2（今回調査比4.6ポイント下落）と悪化の見込みとなっている。

図表 17 最上「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 18 最上「業種別・自社業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

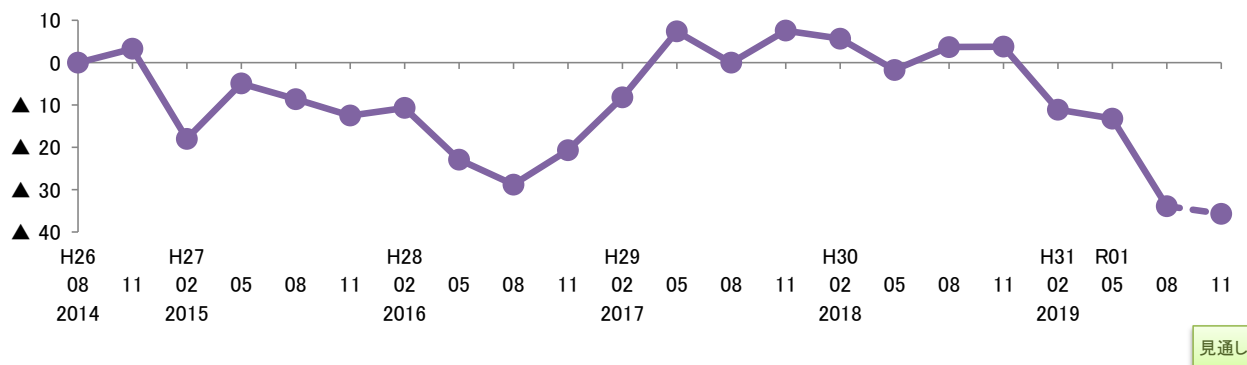
最上 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
H 30.08 (n=43)	▲ 2.3	(▲ 9.1)	▲ 18.2	▲ 29.4	7.7	0.0	60.0
H 30.11 (n=46)	6.6	(8.9)	▲ 7.0	11.1	14.3	▲ 25.0	16.6
H 31.02 (n=44)	4.5	(▲ 2.1)	0.0	0.0	14.3	▲ 12.5	25.0
R 01.05 (n=41)	19.5	(15.0)	▲ 9.0	17.7	16.7	14.3	40.0
R 01.08 (n=44)	6.8	(▲ 12.7)	4.9	18.8	7.2	0.0	▲ 16.7
前回調査比	-	-	-	(1.1)	(▲ 9.5)	(▲ 14.3)	(▲ 56.7)
先行き見通し	2.2	-	-	6.3	7.2	0.0	▲ 16.7
今回調査比	(▲ 4.6)	-	-	(▲ 12.5)	(0.0)	(0.0)	(0.0)

④ 置 賜

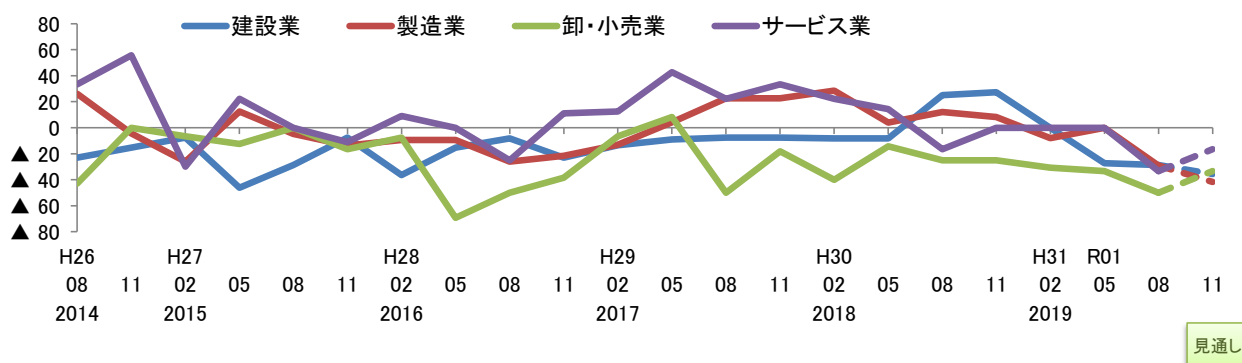
「自社の業況 D I 値（前年同期比）」は▲33.9（前回調査比 20.7 ポイント下落）と 3 期連続で悪化となった。業種別にみてもすべての業種で悪化となり、製造業とサービス業で悪化幅が大きくなっている。

業況の先行き見通しは、「自社の業況 D I 値（前年同期比）」が▲35.7（今回調査比 1.8 ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表 19 置賜「自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



図表 20 置賜「業種別・自社業況 D I 値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況 D I 値

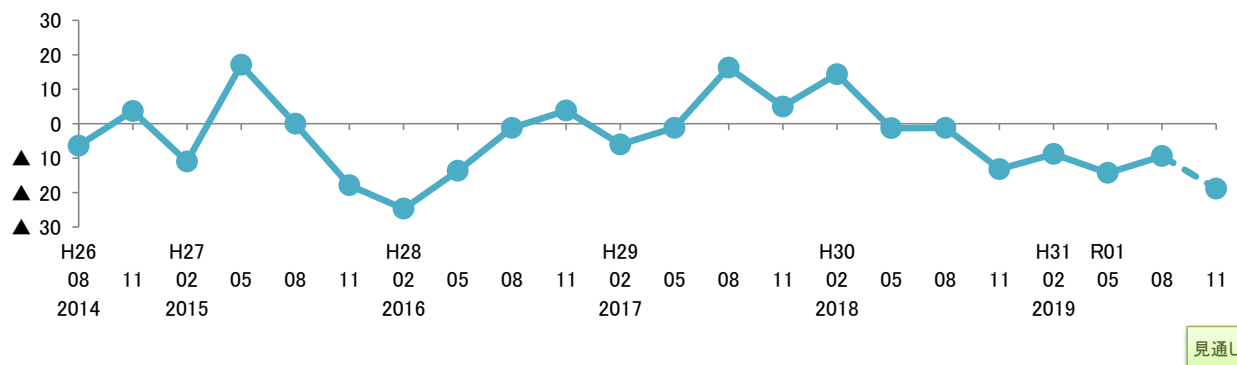
置 賜 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
H 30.08 (n=55)	3.7	(5.4)	0.0	25.0	12.0	▲ 25.0	▲ 16.6
H 30.11 (n=53)	3.8	(0.1)	0.0	27.3	8.3	▲ 25.0	0.0
H 31.02 (n=54)	▲ 11.1	(▲ 14.9)	▲ 9.4	0.0	▲ 8.0	▲ 30.8	0.0
R 01.05 (n=53)	▲ 13.2	(▲ 2.1)	▲ 24.0	▲ 27.2	0.0	▲ 33.3	0.0
R 01.08 (n=56)	▲ 33.9	(▲ 20.7)	▲ 24.5	▲ 28.6	▲ 29.1	▲ 50.0	▲ 33.3
前回調査比	-	-	-	(▲ 1.4)	(▲ 29.1)	(▲ 16.7)	(▲ 33.3)
先行き見通し	▲ 35.7	-	-	▲ 35.7	▲ 41.6	▲ 33.3	▲ 16.6
今回調査比	(▲ 1.8)	-	-	(▲ 7.1)	(▲ 12.5)	(16.7)	(16.7)

⑤ 庄内田川

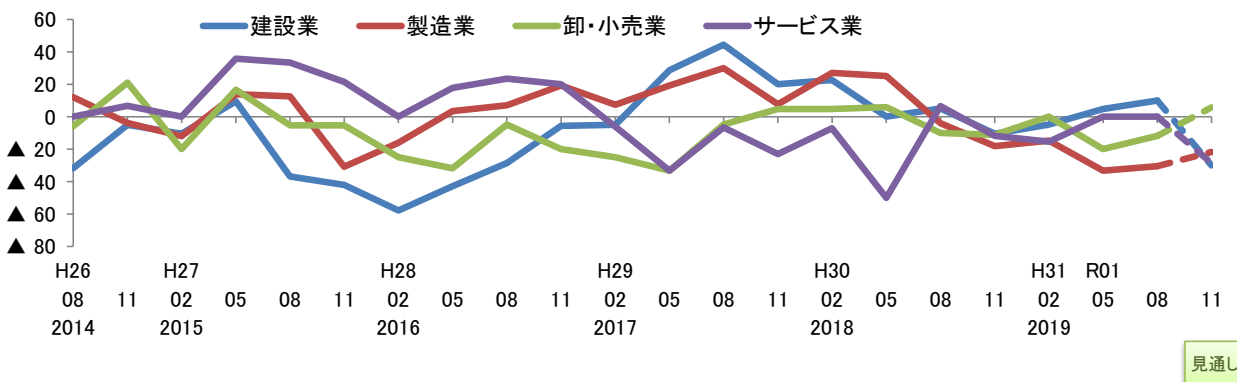
「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲9.4（前回調査比4.9ポイント上昇）と改善となった。業種別にみると、建設業、製造業、卸・小売業で改善となり、サービス業では横ばいとなった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲18.9（今回調査9.5ポイント下落）と悪化が見込まれている。

図表 21 庄内田川「自社業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 22 庄内田川「業種別・自社業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

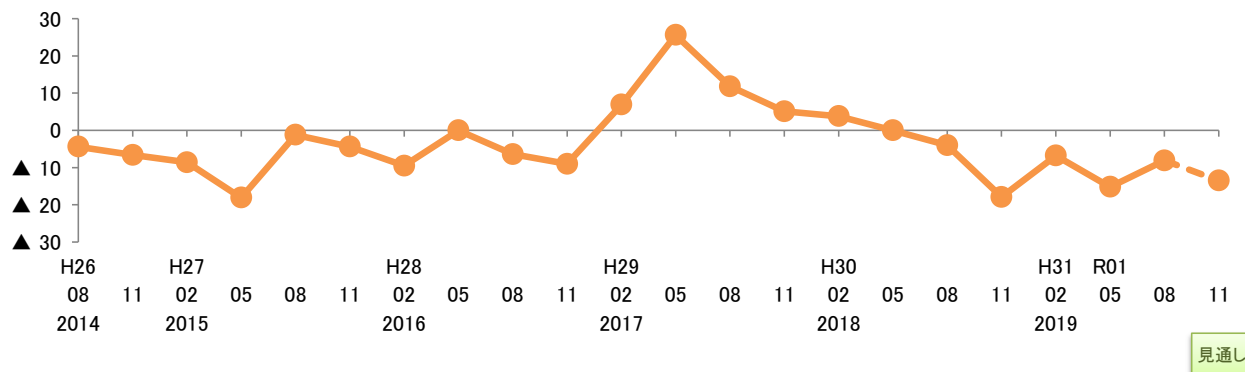
庄内田川 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
H 30.08 (n=80)	▲ 1.2	(0.1)	▲ 25.3	5.0	▲ 4.0	▲ 10.0	6.6
H 30.11 (n=76)	▲ 13.2	(▲ 12.0)	▲ 16.2	▲ 10.5	▲ 18.2	▲ 11.1	▲ 11.8
H 31.02 (n=80)	▲ 8.8	(4.4)	▲ 14.5	▲ 4.8	▲ 14.8	0.0	▲ 15.4
R 01.05 (n=77)	▲ 14.3	(▲ 5.5)	▲ 31.3	4.7	▲ 33.3	▲ 20.0	0.0
R 01.08 (n=74)	▲ 9.4	(4.9)	▲ 35.1	10.0	▲ 30.5	▲ 11.8	0.0
前回調査比	-	-	-	(5.3)	(2.8)	(8.2)	(0.0)
先行き見通し	▲ 18.9	-	-	▲ 30.0	▲ 21.8	5.8	▲ 28.6
今回調査比	(▲ 9.5)	-	-	(▲ 40.0)	(8.7)	(17.6)	(▲ 28.6)

⑥ 庄内飽海

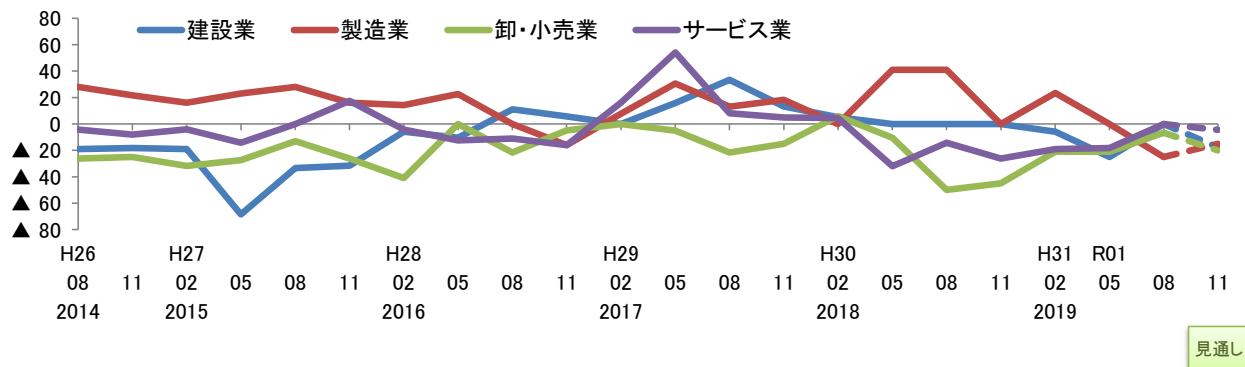
「自社の業況DI値（前年同期比）」は▲8.1（前回調査比 7.1 ポイント上昇）と改善となった。業種別にみると、製造業で悪化となったものの、建設業、卸・小売業、サービス業で改善となった。

業況の先行き見通しは、「自社の業況DI値（前年同期比）」が▲13.5（今回調査比 5.4 ポイント下落）と悪化の見込みとなっている。

図表 23 庄内飽海「自社の業況DI値（前年同期比）」の推移



図表 24 庄内飽海「業種別・自社の業況DI値（前年同期比）」の推移



前年同期比の自社業況DI値

庄内飽海 調査時（サンプル数）	自社業況（前年同期比）			業種別/自社業況（前年同期比）			
	全業種	前回調査比	前回調査予測	建設	製造	卸・小売	サービス
H 30.08 (n=76)	▲ 4.0	(▲ 4.0)	▲ 13.6	0.0	40.9	▲ 50.0	▲ 14.3
H 30.11 (n=84)	▲ 17.9	(▲ 13.9)	4.0	0.0	0.0	▲ 45.0	▲ 26.1
H 31.02 (n=74)	▲ 6.8	(11.1)	▲ 15.5	▲ 5.9	23.5	▲ 21.0	▲ 19.0
R 01.05 (n=79)	▲ 15.2	(▲ 8.4)	▲ 18.9	▲ 25.0	0.0	▲ 21.1	▲ 18.2
R 01.08 (n=74)	▲ 8.1	(7.1)	▲ 30.4	0.0	▲ 25.0	▲ 6.7	0.0
前回調査比	-	-	-	(25.0)	(▲ 25.0)	(14.4)	(18.2)
先行き見通し	▲ 13.5	-	-	▲ 17.6	▲ 15.0	▲ 20.0	▲ 4.5
今回調査比	(▲ 5.4)	-	-	(▲ 17.6)	(10.0)	(▲ 13.3)	(▲ 4.5)

II. 景気天気予報図

【天気図の凡例】

特に好調	好調	まあまあ	不振	きわめて不振
$D \geq 30$	$30 > D \geq 10$	$10 > D \geq \Delta 10$	$\Delta 10 > D \geq \Delta 30$	$\Delta 30 > D$

山形県

今期の業況 →

来期の見通し

庄内飽海

→

最上

→

庄内田川

→

村山北部

→

置賜

→

村山南部

→

今期の概況

来期の見通し

	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種							
建設業							
製造業							
卸・小売業							
サービス業							



	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種							
建設業							
製造業							
卸・小売業							
サービス業							

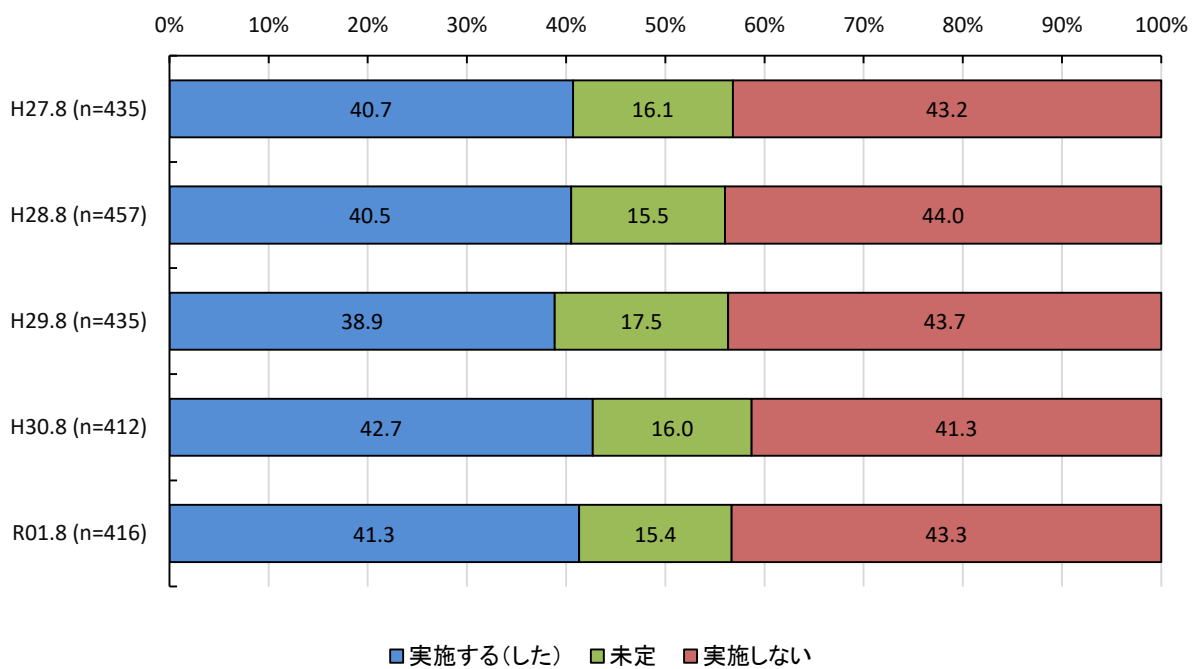
III. 特別調査

1. 設備投資動向について

(1) 設備投資動向

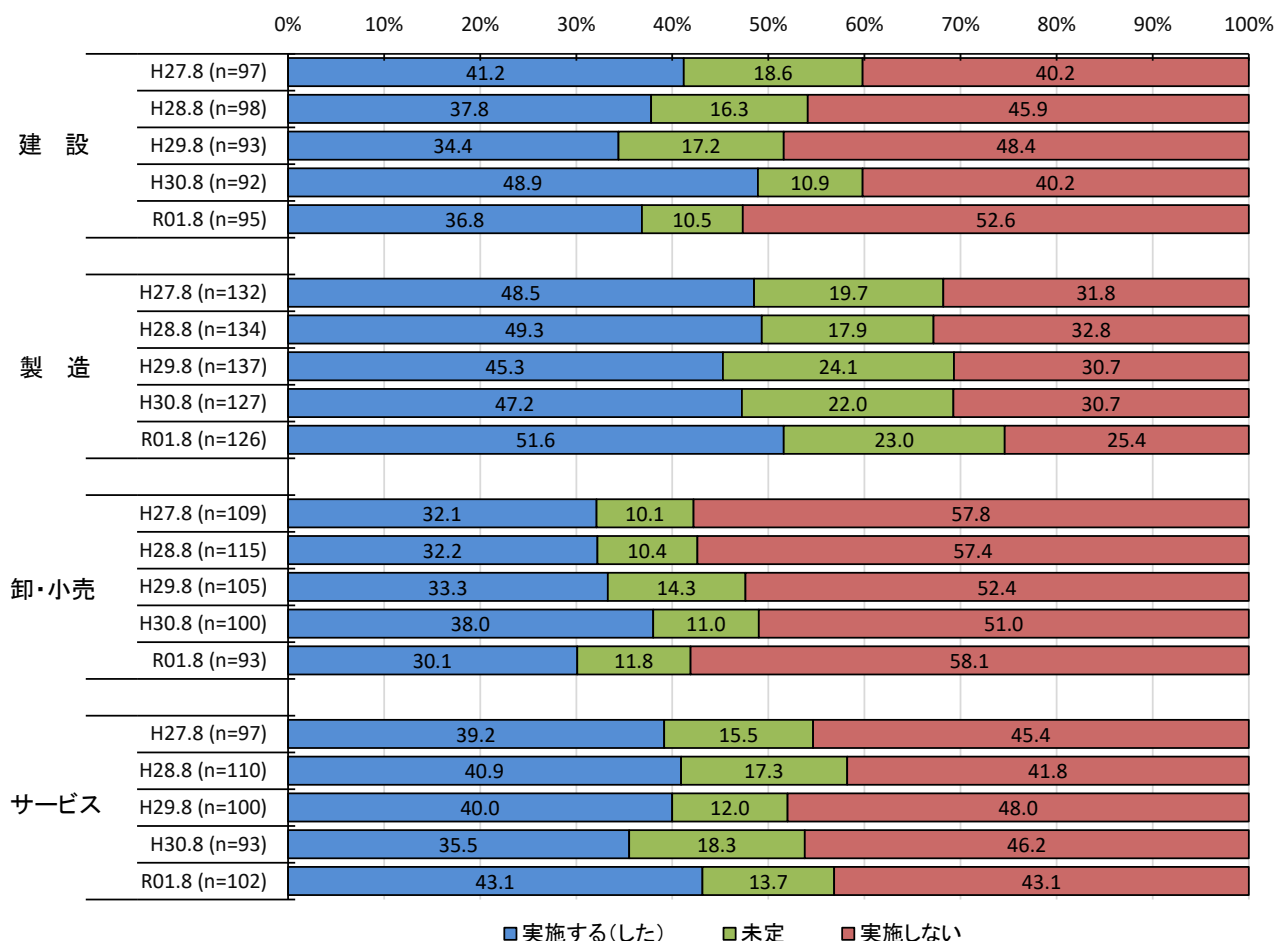
令和元年度中に設備投資を「実施する(した)」と回答した企業の割合は 41.3%と、前年度に比べ 1.4 ポイントの減少となった。一方、「実施しない」は 43.3%と 2.0 ポイントの上昇となった。

図表 25 「設備投資動向」の推移



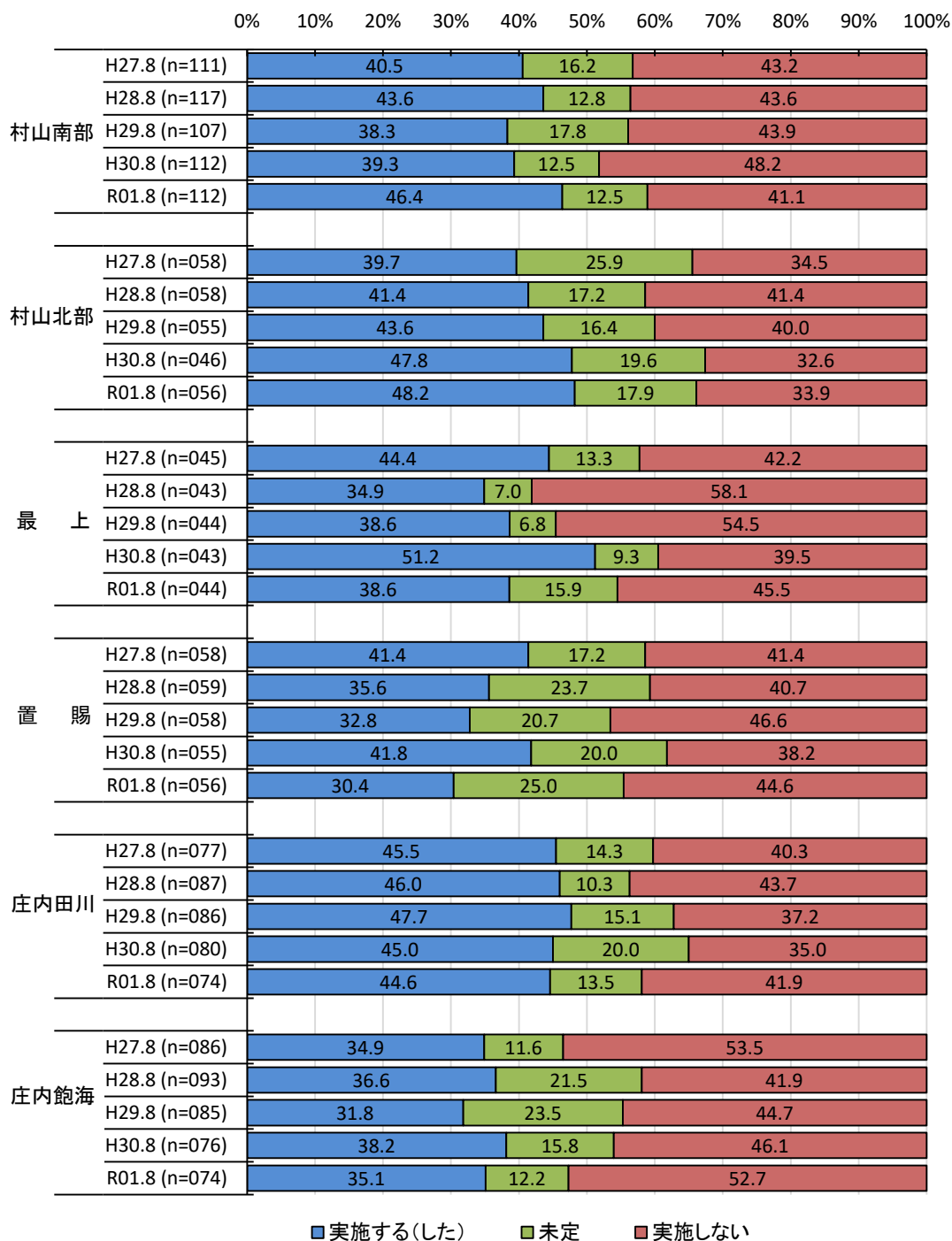
業種別にみると、「実施する(した)」と回答した企業の割合は、建設業が 36.8% (前年度比 12.1 ポイント減少)、製造業が 51.6% (前年度比 4.4 ポイント上昇)、卸・小売業が 30.1% (前年度比 7.9 ポイント低下)、サービス業が 43.1% (前年度比 7.6 ポイント上昇) と、製造業とサービス業で上昇した一方、建設業と卸・小売業で低下した。

図表 26 業種別 「設備投資動向」の推移



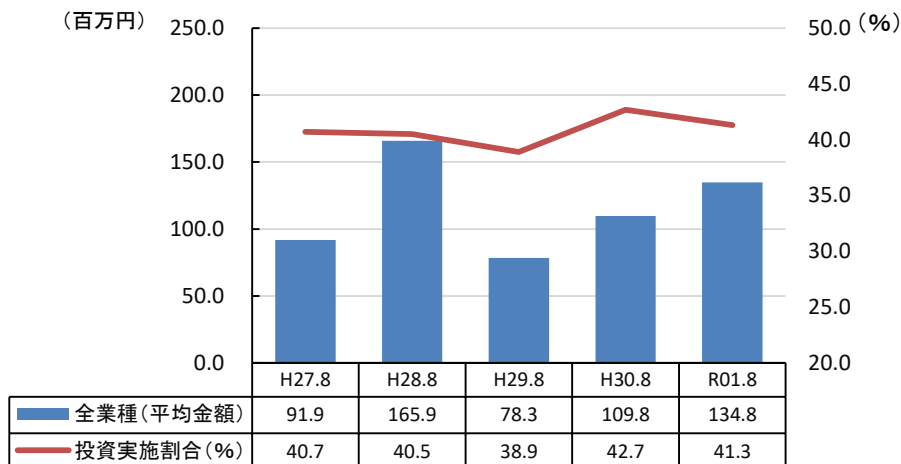
地域別にみると、「実施する（した）」と回答した企業の割合は、村山南部は 46.4%（前年度比 7.1 ポイント上昇）、村山北部は 48.2%（前年度比 0.4 ポイント上昇）、最上は 38.6%（前年度比 12.6 ポイント低下）、置賜は 30.4%（前年度比 11.4 ポイント低下）、庄内田川は 44.6%（前年度比 0.4 ポイント低下）、庄内飽海は 35.1%（前年度比 3.1 ポイント低下）となり、村山北部と庄内田川ではほぼ横ばい、村山南部では上昇となったものの、最上、置賜、庄内飽海で低下となった。

図表 27 地域別 「設備投資動向」の推移



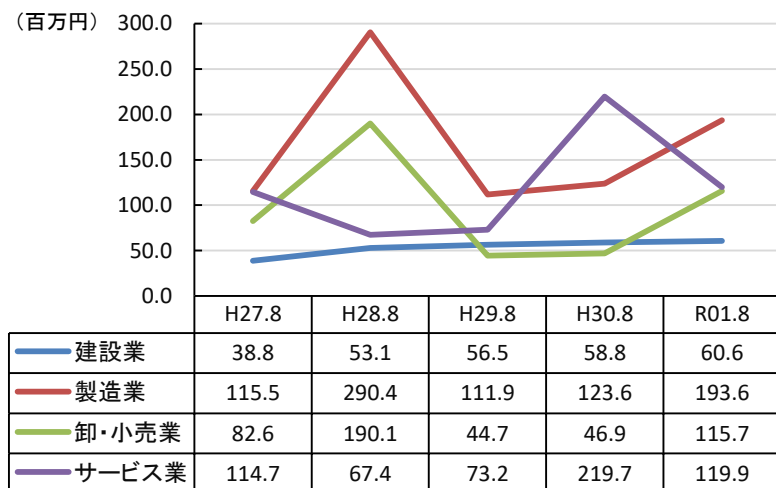
(2) 設備投資金額

図表 28 全業種 「平均設備投資金額と実施割合」の推移



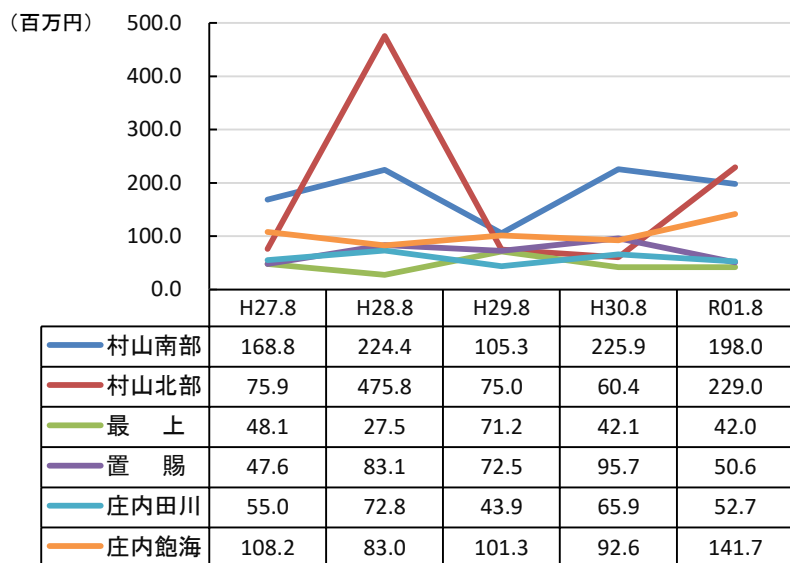
設備投資を「実施する(した)」と回答した企業に投資額を尋ねたところ、1社あたり平均設備投資金額(予定含む)は1億3,480万円で、前年度より2,500万円増加した。

図表 29 業種別 「平均設備投資金額」の推移



業種別にみると、建設業が6,060万円(前年度比180万円増加)、製造業が1億9,360万円(前年度比7,000万円増加)、卸・小売業が1億1,570万円(前年度比6,880万円増加)、サービス業が1億1,990万円(前年度比9,980万円減少)となり、サービス業を除く3業種で増加となった。

図表 30 地域別 「平均設備投資金額」の推移

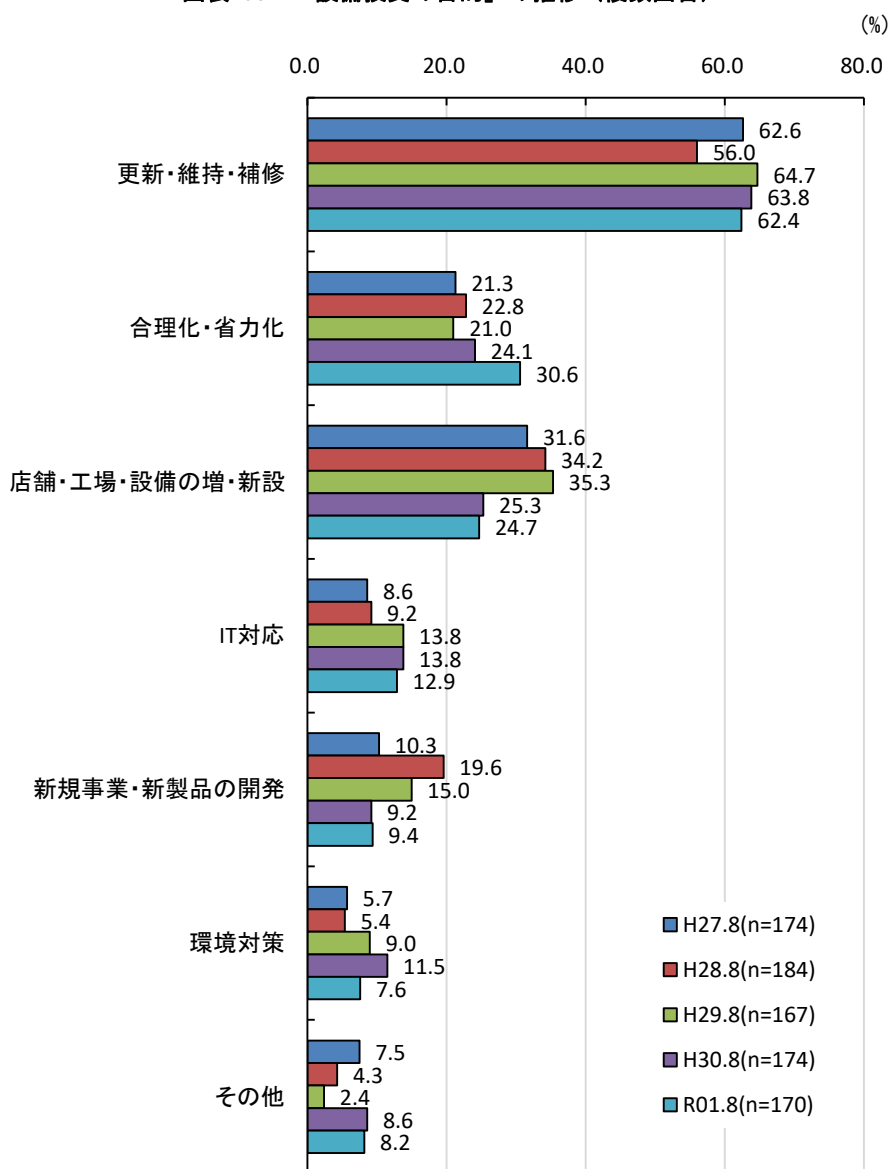


地域別にみると、村山南部が1億9,800万円(前年度比2,790万円減少)、村山北部が2億2,900万円(前年度比1億6,860万円増加)、最上が4,200万円(前年度比10万円減少)、置賜が5,060万円(前年度比4,510万円減少)、庄内田川が5,270万円(前年度比1,330万円減少)、庄内飽海が1億4,170万円(前年度比4,910万円増加)となり、村山南部、最上、置賜、庄内田川で減少、村山北部、庄内飽海で増加となった。

(3) 設備投資目的

設備投資の主な目的について尋ねたところ（複数回答）、「更新・維持・補修」と回答した企業の割合が 62.4%と最も高くなった。次いで「合理化・省力化」が 30.6%と、昨年まで設備投資目的の第 3 位であった「合理化・省力化」が第 2 位となり、「店舗・工場・設備の増・新設」が 24.7%と続いた。

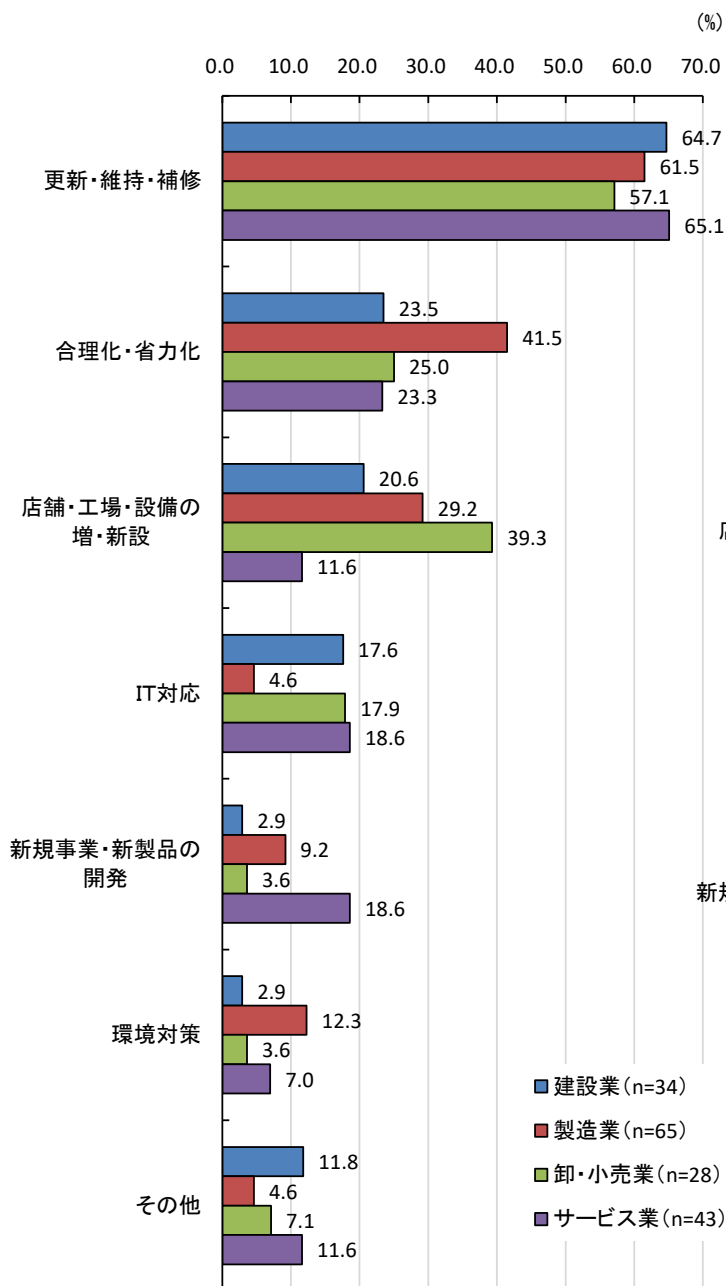
図表 31 「設備投資の目的」の推移（複数回答）



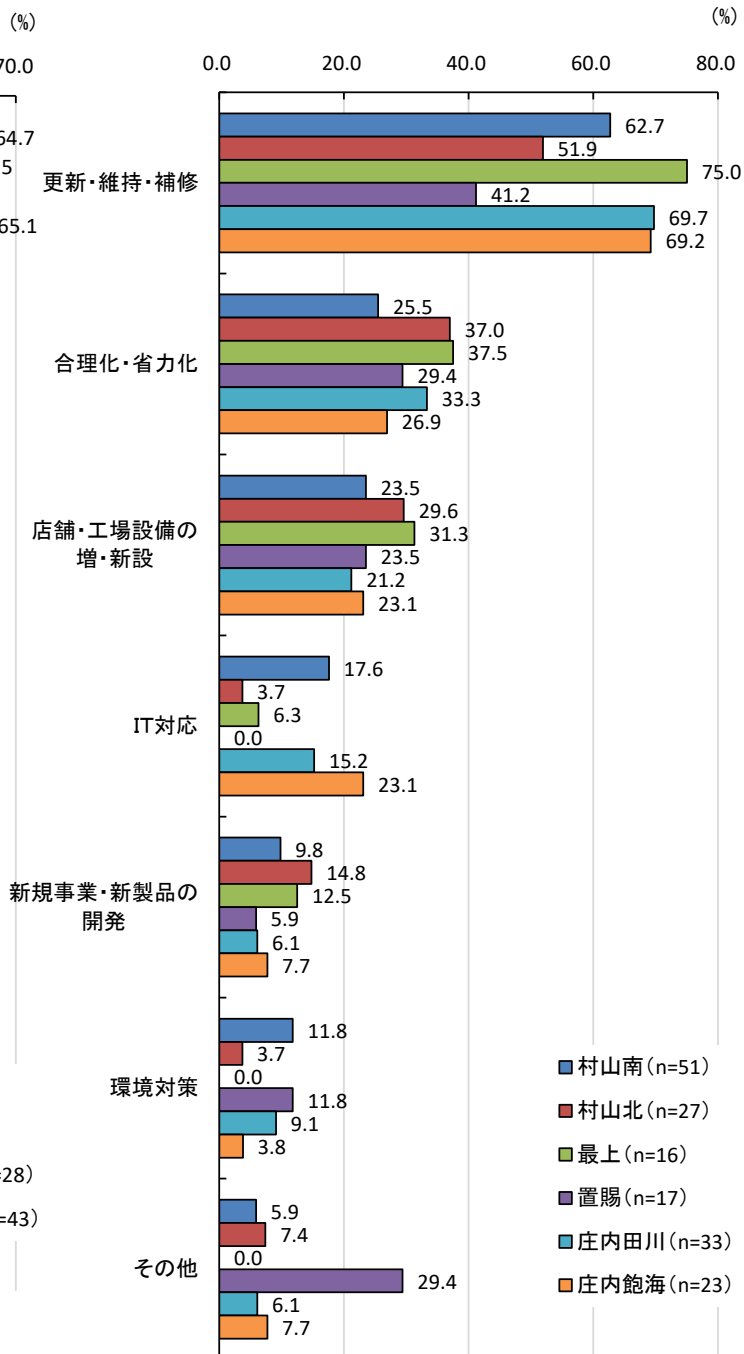
業種別に投資目的をみると、すべての業種で、「更新・維持・補修」が最も高く、卸・小売業を除く 3 業種では、次いで「合理化・省力化」、「店舗・工場・設備の増・新設」となっている。卸・小売業では「店舗・工場・設備の増・新設」が第 2 位となり、「合理化・省力化」が第 3 位となっている。

地域別にみると、すべての地域で「更新・維持・補修」の回答割合が最も高く、次いで「合理化・省力化」、「店舗・工場・設備の増・新設」と続いている。

図表 32 業種別「設備投資の目的」(複数回答)



図表 33 地域別「設備投資の目的」(複数回答)



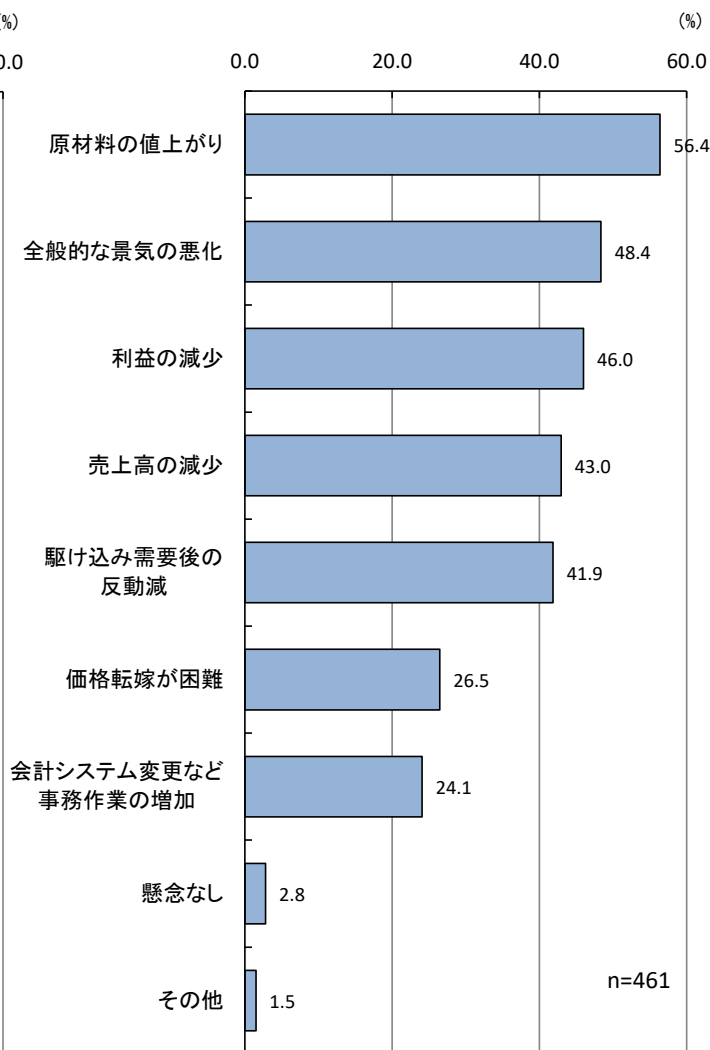
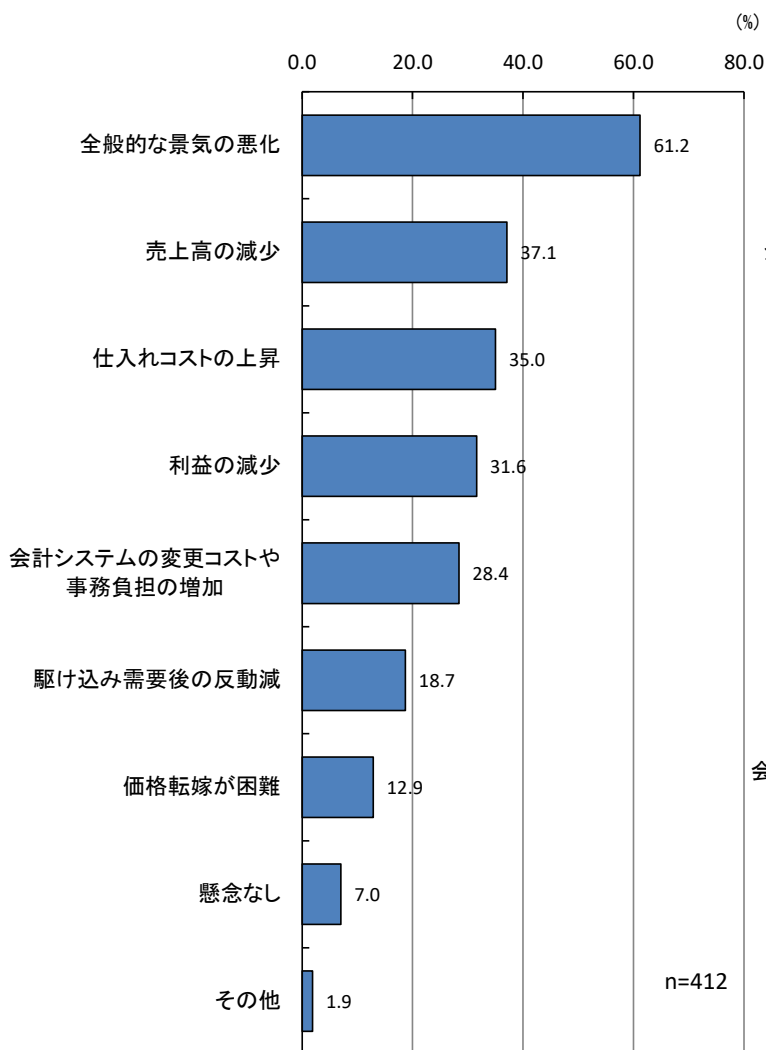
2. 消費増税による影響について

本年 10 月に予定されている消費増税による影響について、増税により懸念されることを尋ねたところ、全業種で「全般的な景気の悪化」と回答した企業が最も多く、61.2%となった。次いで「売上高の減少」が 37.1%、「仕入れコストの上昇」が 35.0%、「利益の減少」が 31.6%となった。駆け込み需要の動きがあまり見られないなか、増税後の景気の冷え込みを懸念している企業が多い結果となった。

<参考>

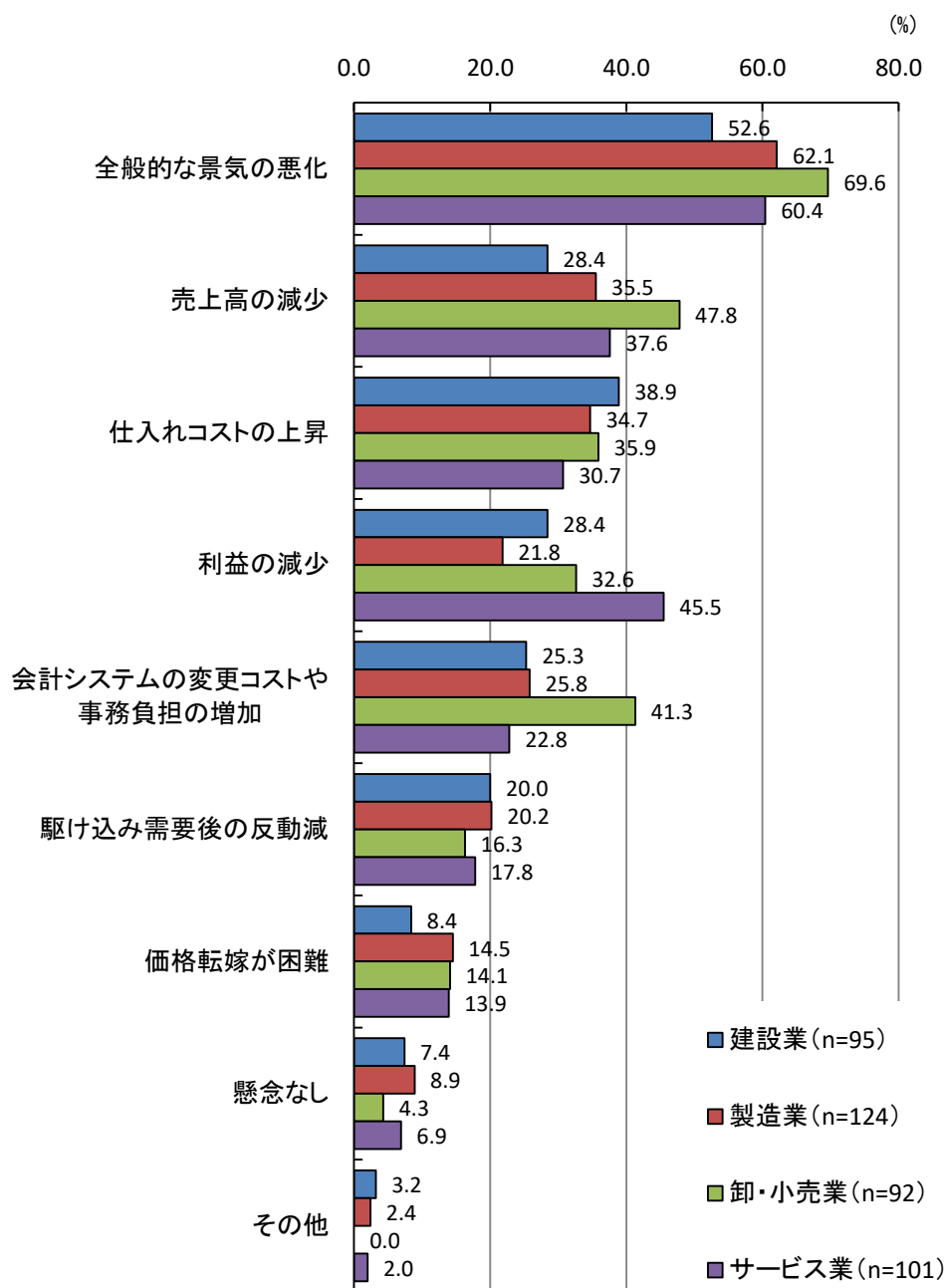
図表 34 全業種「消費増税により懸念されること」
(複数回答)【R1 年 8 月調査】

図表 35 全業種「消費増税後に懸念されること」
(複数回答)【H25 年 11 調査】



業種別にみても、全業種で「全般的な景気の悪化」が最も高くなっている。次いで、製造業と卸・小売業では「売上高の減少」となっているが、建設業では「仕入れコストの上昇」、サービス業では「利益の減少」となっている。また、卸・小売業においては、「会計システムの変更コストや事務負担の増加」が41.3%と他業種に比べて高くなっており、軽減税率への対応などから負担感が大きくなっている様子がうかがえる。

図表 36 業種別「消費増税により懸念されること」(複数回答)
【R1年8月調査】



<参考資料Ⅰ：地域別・業種別回答率>

(サンプル数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
村山南部	22	35	46	55	158
村山北部	20	34	17	18	89
最上	21	18	10	18	67
置賜	23	30	25	13	91
庄内田川	30	38	29	29	126
庄内飽海	34	34	31	37	136
合計	150	189	158	170	667

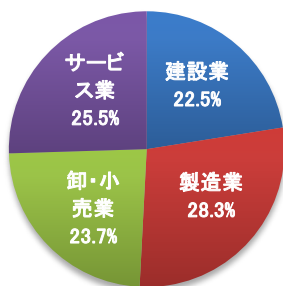
(回答数：社)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
村山南部	17	23	28	44	112
村山北部	11	22	13	10	56
最上	16	14	8	6	44
置賜	14	24	12	6	56
庄内田川	20	23	17	14	74
庄内飽海	17	20	15	22	74
合計	95	126	93	102	416

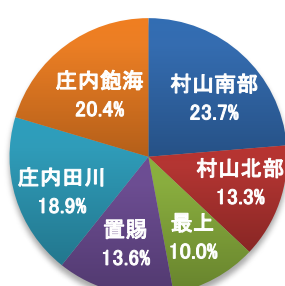
(回答率：%)

	建設	製造	卸・小売	サービス	合計
村山南部	77.3	65.7	60.9	80.0	70.9
村山北部	55.0	64.7	76.5	55.6	62.9
最上	76.2	77.8	80.0	33.3	65.7
置賜	60.9	80.0	48.0	46.2	61.5
庄内田川	66.7	60.5	58.6	48.3	58.7
庄内飽海	50.0	58.8	48.4	59.5	54.4
合計	63.3	66.7	58.9	60.0	62.4

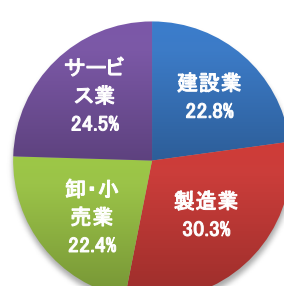
サンプル割合（業種別）



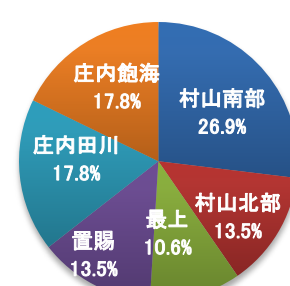
サンプル割合（地域別）



回答社割合（業種別）



回答社割合（地域別）



<参考資料Ⅱ：調査の概要>

● 調査の目的

県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内の景気動向について把握するために実施した

● 調査の方法

インターネットを利用したアンケート調査（一部 F A X を利用）

● 調査期間

令和元年 8 月 1 日（火）～19 日（月）

● 地域区分

地域名	対象となる市町村名
村山南部	山形市、上山市、山辺町、中山町
村山北部	寒河江市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町
最 上	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村
置 賜	米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町
庄内田川	鶴岡市、庄内町、三川町
庄内飽海	酒田市、遊佐町

● 調査の内容

アンケート調査は、各企業の業況判断について 3 肢択一方式を採用している。毎回必ず調査する「定例調査」と、調査時期にふさわしい経済トピックス等について調査する「特別調査」とを設けている

項 目	選択肢 (択一方式)
自社の業況 (共通項目)	1. 良い 2. さほど変わらない 3. 悪い
業界の業況 (共通項目)	1. 良い 2. さほど変わらない 3. 悪い
売上高 (建設業を除く)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
完成工事高 (建設業)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
営業利益 (共通項目)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
人員や人手 (共通項目)	1. 足りない 2. ちょうどよい 3. 余っている
資金繰り (共通項目)	1. 楽になった 2. さほど変わらない 3. 厳しい
原材料等の仕入価格 (製造業のみ)	1. 下がった 2. さほど変わらない 3. 上がった
製 (商) 品の仕入価 (卸・小売業のみ)	1. 下がった 2. さほど変わらない 3. 上がった
在庫状況 (製造業)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った
手持工事高 (建設業)	1. 増えた 2. さほど変わらない 3. 減った

(注) 各項目とも「前年同期比」、「前期比」、「来期の見通し」について、それぞれ 3 肢択一方式を採用している

● 集計方法

各項目とも、現状判断、先行き見通しについてそれぞれ D I 値を算出する。D I 値とは、Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、算出方法は次の通り

例) 自社の業況 D I 値

$$= (\text{「1. 良い」と回答した企業の割合}) - (\text{「3. 悪い」と回答した企業の割合})$$

たとえば「自社の業況 D I 値」がプラスであれば、相対的に自社の業況が良いと判断した企業が多いことになる。また、業況の変化の方向 (良くなっているか、悪くなっているか) についても分かる

ちなみに、他の D I 値についても同様に、選択肢「1. 」(「調査の内容」の「選択肢」欄をご参照のこと) を選んだ企業の割合から選択肢「3. 」を選んだ企業の割合を差し引いて算出する

<お知らせ>

F S N 会員専用ホームページ (<http://www.bb-town.jp/cgi-bin/fsn.cgi>) にアクセスすると、統計データの最新版をダウンロードすることができます。こちらも是非ご利用ください。なお、過去の調査レポートや統計データは当社ホームページ (<http://www.f-ric.co.jp/>) 「調査レポート」コーナーからダウンロードすることができます。

<お問い合わせ先>

株式会社フィデア総合研究所

地域政策コンサルティンググループ 熊本 均 / 松田 美由紀

〒990-0043 山形県山形市本町 1-4-2 1 荘銀山形ビル 8 F

TEL : 023-626-9017 FAX : 023-626-9038

E-mail : kenkyuu@f-ric.co.jp URL : <http://www.f-ric.co.jp/>